

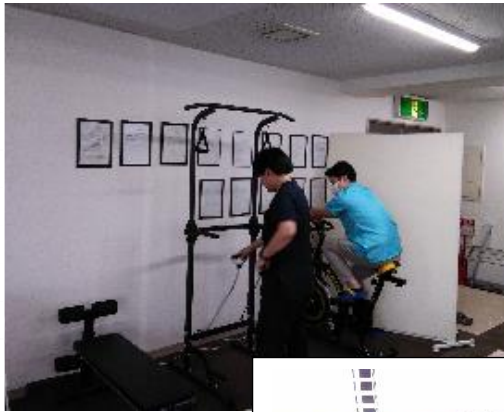


訪問看護ステーション

りあん通信

2020年
8月号

スタッフも健康な体づくりに励みます！



ステーション内にフィットネスコーナーが出来ました。休憩時間の合間に体を鍛えるスタッフや、プロテイン摂取に励むスタッフがいます。

利用者様のお世話をするためにも、まずはスタッフの健康な体づくりをしたいという声が挙がってきました。そんな要望を受け止めて、ファミリークリニックの院長先生たちが器具の購入資金を援助してくれました。ジムに通う時間とお金も節約して、鍛えた体でスタッフは今日も元気に皆様のもとへ伺います！

管理者 田口亜希子

～スタッフ紹介～ 7月より2名の仲間が仲間になりました♪

看護師 田村

訪問看護を通して、ご家族様と一緒にその人にあった看護を提供できるように頑張っていきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。



看護師 木村

訪問看護が大好きです。ご本人様・ご家族様、スタッフさんとの関わりでいつも成長させて頂いています。色々なことを学ばせて頂きながら、訪問させて頂く事に感謝をして関わっていただけると考えています。よろしくお祈りいたします！！

Instagram
やってます⇒
よかったらチェックしてみてください。



医療法人修志会
りあん訪問看護ステーション
〒343-0041
埼玉県越谷市せんげん台西 1-8-7-303
TEL 048-972-6386
FAX 048-972-6486
事業所番号：1160890285

訪問リハビリについて

今月も在宅リハビリで用いる道具を紹介します。



オセロ

指先でオセロのコマをつかんでめくる動作と、ルールを理解するなど頭の両方を同時につかいます。

お手玉

触った感じを確認したり、物をつかんだり、投げたりする練習に使います。昔取った杵柄なのか、とても上手にお手玉をしてくれる利用者さんもいます。



～スタッフのつぶやき～

病院のリハビリ室で働いていた頃、リハビリの目標を考えると『関節可動域が、正常になる』『5メートル連続して歩ける』など、今思えば退院後の患者さんの具体的な生活が描けていないときがありました。

訪問リハビリをするようになって、利用者さんが住み慣れた自宅で何をしたいかを意識して目標に取り入れるようになりました。『氷川きよしのコンサートに行きたいから、車の乗り降りができるようになりたい』『一人でトイレに行きたい』等等など。利用者さんからも在宅では具体的な希望が出てきやすいように感じています。病院ほどの機材や広さもないですが、在宅はその人の思いを叶えるオーダーメイドのリハビリ室なのかもしれません。

よりよい訪問リハビリを提供できるよう、皆様からの質問や要望がございましたら、お気軽に声をかけてください。

